



# 断熱基礎点検口 600型

浴室区画に使用する断熱気密の基礎点検口です。

熱貫流率= **0.47** W/(m<sup>2</sup>·K) 熱抵抗値= **2.1** m<sup>2</sup>·K/W

基礎幅150mm、土間コンクリート立上げ寸法340~400mm に対応します。

型枠施工時に設置する先付タイプです。  
点検後もフタを戻すことにより断熱気密を確保できます。

- 1** 自己消火性難燃発泡スチロール(EPS)製です。  
コンクリート汚れが目立ちにくいグレー色です。

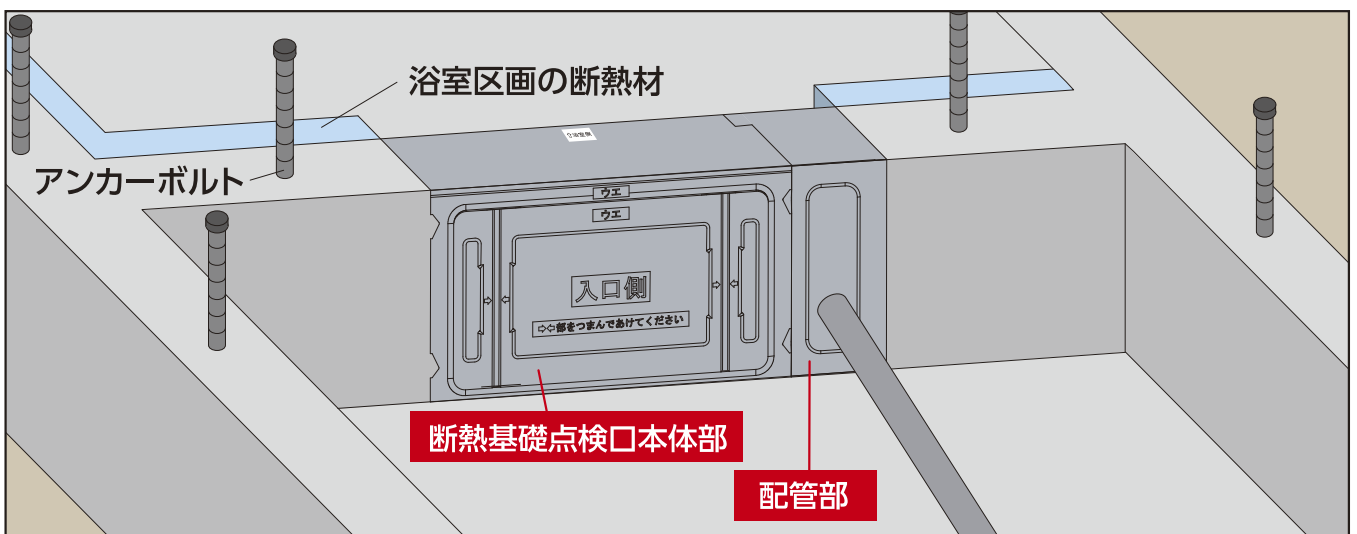


断熱基礎点検口本体部

配管部

- 2** EPSバネ機構で気密性を確保、開閉しやすいフタ構造です。  
JIS A 4706(サッシ)気密性 A3等級に該当しています。

- 3** 左右どちら側にも  
取付可能です。



ジャパン建材株式会社

## A 断熱基礎点検口 600型 本体部



品番	YDK1535
色	グレー
材質	発泡ポリスチレン(EPS)
製品寸法	600×350×150mm(設計値)
梱包寸法	612×363×162(H)mm
梱包重量	約1.5Kg
附属品	気密パッキン2本、施工説明書

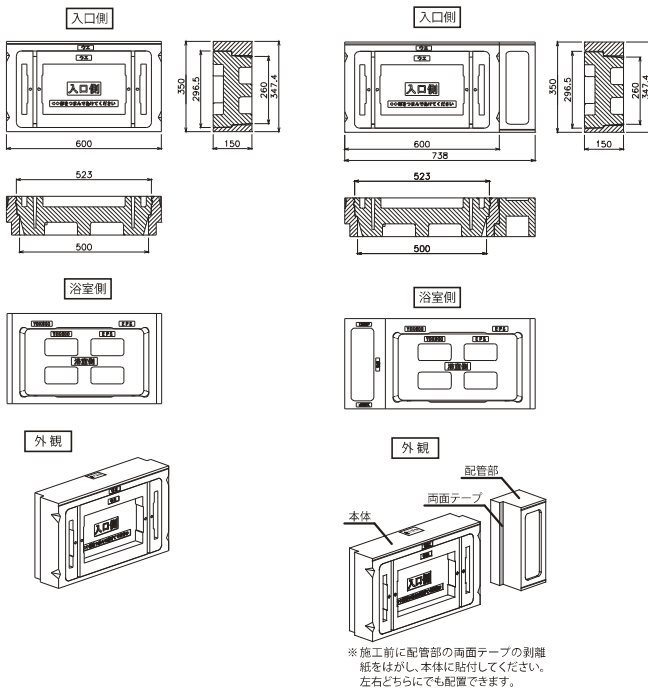
## B 断熱基礎点検口 600型 本体部 + 配管部



品番	YDK1535P
色	グレー
材質	発泡ポリスチレン(EPS)
製品寸法	738×350×150mm(設計値)
梱包寸法	770×363×162(H)mm
梱包重量	約1.7Kg
附属品	気密パッキン2本、施工説明書

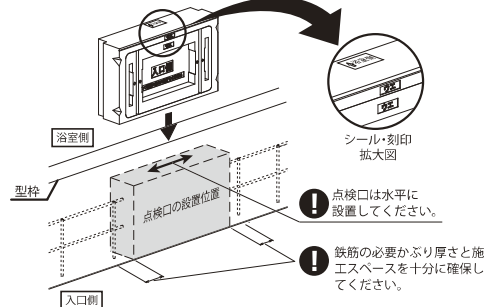
- 製品の色は印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。
- 製品の仕様は改良などのため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

製品仕様 (単位:mm)

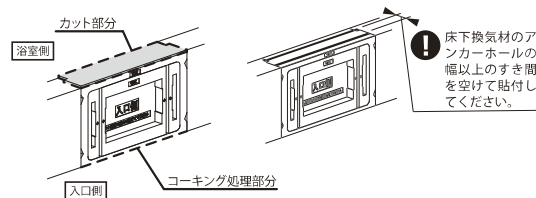


## 施工手順

- 1 型枠を組み立てたあと点検口を施工します。その際シールと刻印を確認し、入口側/浴室側および上/下を間違えないよう注意してください。また点検口配置後は水平器等で水平に設置されていることを確認してください。

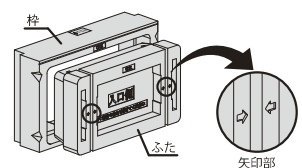


- 2 点検口が基礎天端より上にはみ出している場合は、のこぎりなどでカットしてください。必要に応じて点検口の天面に気密シール材を貼付します。また土間コンクリートと点検口の間はコーキング剤などで処理します。



## ふたの開閉について

- 1 左右2箇所の矢印部を両手で1箇所ずつはさむようにつまみます。
- 2 矢印部をつまみながら、両手で手前に引き、扉を開けます。
- 3 ふたを開める際は枠にしっかりとめ込んでください。すき間が空いていると気密性が損なわれるおそれがあります。



## 樹脂枠床下点検口もご用意しています。



ジャパン建材株式会社